

母校・郷土の情報アーカイブ版(2018 年 9 月 PDF 化)

過去、東京同窓会ホームページで紹介した記事をアーカイブしました。(青字部分はオリジナル記事に書き加えた部分です。)

恩師中村史郎先生の叙勲祝賀会に参加して

第22期 新制4期 村井克自 '00.10.22

7月15日(土曜)、能代市のプラザ都で体操部の大先輩で担任でもあった恩師、中村史郎先生の叙勲祝賀会が催され出席してきました。地味な先生に似合わず、各方面からの出席者が約160名と大盛会でした。我々クラス有志も10名参加し、何十回乾杯したことか。その時の記念写真です。

祝賀会の帰途、青森経由でNHK朝ドラ「私の青空」のロケ地である下北半島大間崎へ立ち寄り、八戸で途中下車、名物の馬刺を堪能してきました。

相変わらずのミーハー振りを発揮して、暑い夏に対処しております。

お互い元気で2000年の夏を乗り切りましょう。



錢 谷 哲 男	松 野 和 明	佐 藤 清 一	堺 和 民 雄	宮 腰 陽 一	齊 藤 孟	成 田 秀 明	針 金 良 明	村 井 克 自
柳 川 重 雄	塚 本 明	中 村 夫 人	中 村 先 生	福 田 昌 雄				

(袴田注)

送られてきた写真がプリンタに打ち出されたものでしたのでスキャナで取り込みました。
そのため若干見にくくなっていることをお許してください。

ホームページに体操部のことと、バレー部のことについて載っていましたので、参考までに中村先生と武田先生について記しておきます。

中村史郎先生(旧制 14 期)

平成12年春の叙勲でスポーツ振興、教育功労で、勲四等瑞宝章を受章されました。

昭和23年から母校の教師となり、体操部顧問としてインターハイで11回の優勝を遂げた。昭和51年ニッ井高、53年能代北高で教頭を務め、60年男鹿高校長で退職。

体操能代と呼ばれた時代、旧制中学時代の選手権にして初の明治神宮大会(現在の国体)個人優勝に輝き(昭和17年)。母校で教鞭をとりながら、体操部指導者となり昭和24年から開催された第1回インターハイでは、五輪メダリストの小野喬選手を擁して団体総合優勝したのを最初に、籍をおいた15年間にインターハイ団体優勝12回、2位3位各1回、その他秋田県代表として全国大会の国体やインターハイに何度も出場し、体操能代高の名を全国に広めた名指導者である。

中村先生が転勤となって母校を去ったことが、残念ながら今日の体操部の衰退に繋がったわけである。

母校バレー部監督 故武田重蔵先生(旧制 16 期)

昭和26年から43年まで能代高校バレー部の監督を務め、昭和31年にオリンピック選手の菅原敬貞氏を擁してインターハイで優勝、32年には準優勝し、その他県代表として国体、インターハイに出場し、バレーの武重時代を築いた。

平成11年10月27日死去、72才。

母校バレー部の活躍も武重先生の転勤などにより、又、9人制から6人制に変わってきて、衰退していったのである。

体操の小野喬氏、バレーの菅原敬貞氏らの活躍も、中村史郎先生や武田重蔵先生などの良き指導者が居てこそそのことで、今の能代工業のバスケット部の活躍にも同じことが言えるのではないだろうか。

華やかな時代に在学していた者には、いずれ又、良き指導者がかつての能代高校の名前が広まることを期待して止まないのである。

(袴田注)

武田先生のご子息、武田隆さん(能代高校卒業生、44期)は鎌倉学園(神奈川)の硬式野球部監督をされており、ダイエーホークスの若田部投手など、数々の名選手を育てられましたが平成21年秋の神奈川県大会を最後に勇退されました。

甲子園出場の記憶(平成4年夏) '00.10.22

平成4年夏、我が母校は甲子園へ4度目の出場を果たし、1勝を記録した。そのときの様子を報じた同窓会会報を入手しましたので、Home Page上で紹介します。

(1)

能代高校同窓会報・松陵

平成5年1月10日 第4号

硬式、軟式同時全国大会出場



第74回 全国高校野球選手権大会 夏の甲子園

松陵

能代高等学校同窓会
事務局
能代高校内
能代市字高埜2-1
TEL 0185-54-2230
題字は神馬会長

14年振り 甲子園出場

29年ぶりの甲子園2勝目。
メインボールに翻る校旗。
抱き合って喜ぶ生徒・職員・同窓生。そして3千人の観客による校歌の大合唱。歌おうとしても涙が流れて声がでない。われわれ同窓生にとってはまさに感激の一瞬であった。

この試合は最後まで息をぬかせぬ戦いだった。1点を先行されていた9回、成田の2塁打や土崎の右前打で同点。さらに池端の二ゴロが併殺崩れになる間に、代走川原が生還して逆転。県内からは勿論東京や近畿から多くの同窓生が応援に駆け付けてくれた。

学校には試合終了後多くの市民や北海道にいるという同窓生から喜びの電話があった。まさに能代高校関係者の心を一つにした甲子園での勝利だった。

九回に逆転！
三千人による
校歌大合唱

能代	佐賀東
1000000102	1000200000
3	4

平成12年10月下旬、能代で親類の結婚式があり、その際旧校舎のあった樽子山界隈を散歩してきました。最近の樽子山界隈の様子を写真でご紹介します。

旧正門前の様子



プラタナスの並木が美しかった正門付近。中和通りから文化会館への取り付け道路が整備され昔日のたたずまいは失われた。

旧グラウンドの桜並木



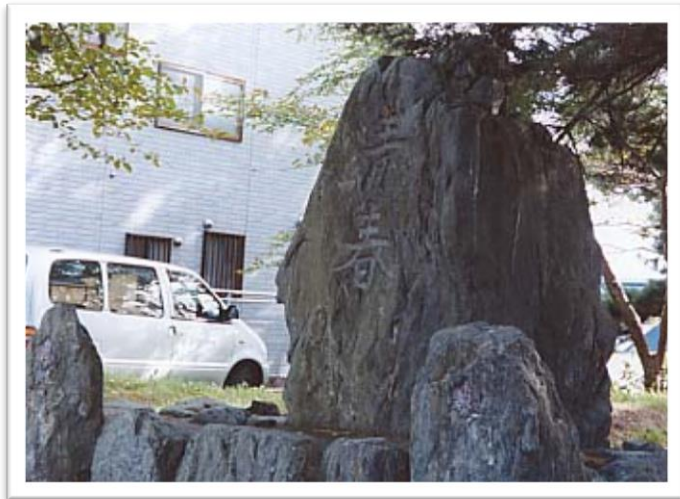
旧グラウンドの右翼後方にあった桜並木は
いまだ健在。文化会館の後方にあたり回り込まないと見えない位置になってしまったが残念。

旧裏門から見た校舎跡地



旧裏門から見ると、中央公民館が正面に見える。公民館の後方が文化会館。公民館の左手には勤労青少年ホームがあり、隣接する図書館と共にすっかり文教地域に変身している。

青春の碑



噂には聞いていた青春の碑をやっと発見。場所は旧正門跡地南側であるが、気をつけて見ないと通り過ぎてしまう。手前の碑に校章が埋め込まれているの見えるでしょうか。右が戦前の旧制中学時代のもの、左が現在のもの。裏へ回ると昭和50年代に同窓会の手によって建てられた事を示す碑文があった。

おまけ

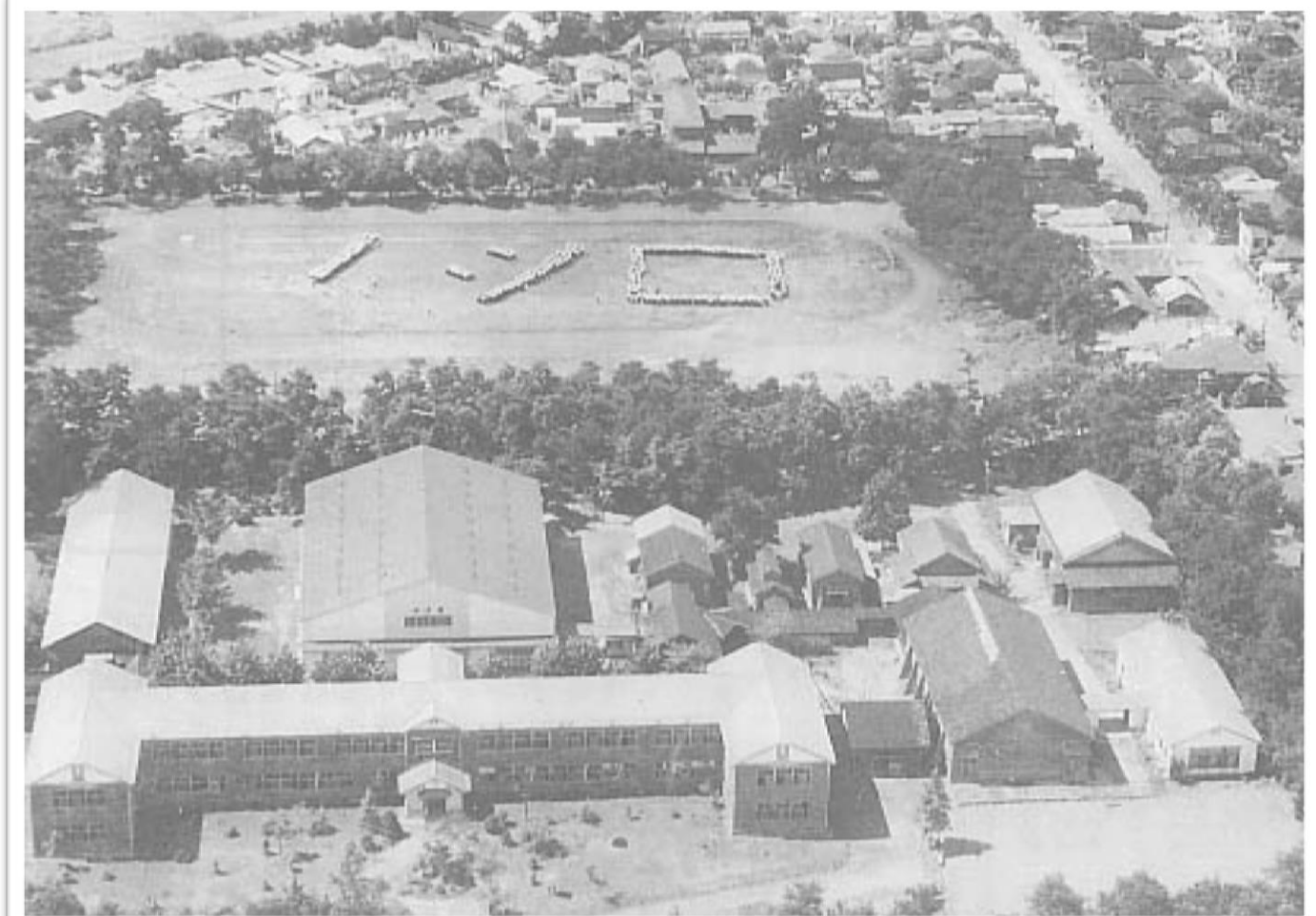


能代北高は今も変わらず。。。。

(袴田注)

2013年4月に能代商業高校と統合し、能代松陽高校として開校しました。校舎は能代商業高校の跡地に移転しましたので、この校舎は惜しまれながらその後解体されました。

樽子山時代の校舎全景(昭和30年代)



写真提供 高田政勝氏(32期、新制14期)

秋田県内で発行されている「月刊AKITA」2000年10月号に「誌上同期会」と題し、能代高校新制14期同窓会が紹介されました。高田氏から掲載誌を送っていただきましたので、内容を紹介します。

記事は、同期の方々11名からの寄稿から成り、在学当時の思い出、近況、同期会の活動状況等が綴られています。寄稿された方々は以下の通りです。

山田孝行(能代市住) 近況報告

村上満喜子(東京都住) 故郷よ永遠なれ

野呂田正一(秋田市住) 酔いごち

豊澤有兄(能代市住) 嬉しい一日

濱屋裕一(東京都住) 好きでやった幹事の苦労

中田友一(名古屋市住) 染井吉野

高田政勝(東京都住) 思い出と現況

鈴木隆三(秋田市住) クラブ活動の思い出

森(旧姓:小野)喬夫(東京都住) 体操に明け暮れた我が青春時代

堀内・夫(徳山市住) 担任の大山昇市郎先生と私の近況

成田繁穂(能代市住) 壺四会のことなど

50歳の節目を迎えて、十四期生だからついた「壺四会」の名前の由来、以降花見と忘年会が恒例となっていること、「花見・忘年会では喋り足りねべがら、一人一時間ぐらい思いっきり喋る会をやれば、どんだが」ということで毎月第三月曜日の夜、公民館の一室を会場に立ち上がった「三月会」。等語られています。

誌上

同期会開催⑦

秋田県立能代高等学校
新制十四期同期会「壺四会」

懐かしい友。
机を並べたあの頃を思い描きながら、
青春の1ページをめくって下さい。



52